

[主訴]

右五十肩

特に結帯動作の痛みが強い。

[随伴症状]

右小指痛、足底筋膜炎、花粉症、食後眠くなる、食欲不振、虚弱体質、ごくまれに足がつる、手足がだるい、冷え性、下半身の冷え、高血圧、頸痛、肩痛、肘痛、長時間歩くと足首が痛くなる。

[経過]

数週間前から右腕、手首、手のひらの痛み、腫れが出てきて、肩が挙がらない。

薬も数種類処方されたが元来胃腸が弱いため体調が悪化し現在はほとんど飲んでいない。

[望診]

細身、唇が厚い、色はやや黄色と黒。

背部に少々シミあり。

[切診]

全体的に軟で虚証体質。

右肩前面に圧痛なし。右棘下に硬結あり。棘上部圧痛なし。

右大腸経虚痛。

[腹診]

中脘に抵抗あり。鼠径部圧痛なし。

[脈診]

浮、平、虚。全体的に浮いており弱い。

左関上重按で虚。右寸口軽按で実。

[証の決定]

筋の病なので肝虚と予想する。

五十肩に加え、足底筋膜炎、小指痛、高血圧、背部のシミ、脈診から肝虚熱証と判断した。

[治療]

太衝、陰谷の補法。

肝兪、腎兪に間接灸。

右棘下の硬結に置鍼。

天柱、風池の瀉法。

肩背部散鍼。

右腕骨の瀉法。

右大腸経実穴に円皮鍼。

胆経輸瀉。

[経過]

2 診 : 前回の治療で結帯動作が楽になり手のひらの痛

みも和らいだ。右膝裏の痛みが出現。

膝裏の痛みに対して膀胱経の瀉法を追加。1 診と同様に肝虚とし小腸経、大腸経の瀉法も行う。

3 診：前回の治療で肩の痛み、動きは良くなってきている。

右肩甲骨外側に痛みを感じる。肩の痛みが和らぐと胃の不調が気になってきた。

肝虚で五十肩の治療に胃腸の治療を加え中腕、足三里の補法。脈診から三焦経と胆経に輸瀉を施した。

おそらく体質が脾虚と予想されるので五十肩が改善されるにつれ脾虚の症状が現れると思われる。

五十肩改善後に食欲不振、食後の眠気、虚弱体質、手足のだるさの治療に移行する。